

「復帰」50年国際シンポジウム

「外国人」問題から共生を考える ：米国統治下から現在まで

13:00～
▶趣旨説明 土井智義 氏(明治学院大学国際平和研究所助手)

司会 | 秋山道宏 氏(沖縄国際大学准教授)

第1部 米国統治下の「外国人」

13:05～ | 「非琉球人」管理制度の概要 |
土井智義 氏(明治学院大学国際平和研究所助手)

13:40～ | 「非琉球人」として生きる：経験者へのインタビュー |
● 内山照雄 氏(特定非営利活動法人 かりゆし結・元監査役)
● 古賀なほ子 氏(刺しゅうの店 クレージーストアー・2代目代表者)
(聞き手) 土井智義 氏(明治学院大学国際平和研究所助手)

14:40～ | 質疑応答 |

— 休憩(10分) —

第2部 「復帰」以降の「外国人」

15:00～
| 沖縄に在留する朝鮮半島出身者の法的地位 |
金美恵 氏(東京大学大学院総合文化研究科・特任研究員・朝鮮近現代史)

| 1990年以降のグローバル化と新たな「外国人」管理制度 |
古屋哲 氏(世界人権問題研究センター・研究員・人類学・移民制度研究)

16:05～ | 総合討論 |

16:30～
▶閉会挨拶 秋山道宏 氏(沖縄国際大学准教授)

*対面参加申込： 定員50名(先着順)
<https://forms.gle/5oMsHwWdGzCGe1yT6>



*オンライン参加申込：(zoomウェビナー)
https://zoom.us/webinar/register/WN_D0W5hmRUQYOItHEOMHr32Q



共催：科研費若手研究(課題番号：21K17955、研究代表者：土井智義)、
明治学院大学国際平和研究所(PRIME)
後援：沖縄国際大学南島文化研究所

2023年

2月11日(土)

13:00-16:30

*オンライン併用

沖縄国際大学

3号館303教室

〒901-2701

沖縄県宜野湾市宜野湾二丁目6番1号



沖縄では、日常的に人を「ウチナーンチュ」「ナイチャー」「ガイジン」という区別することが多い。近年、海外からの労働者を見かけることが増えた。また、他府県に由来する人を「ウチナーンチュ」と明確に区別せよという主張も、県内外でみられる。「多文化共生」という言葉が沖縄でも聞かれるが、そもそも誰が沖縄で「外国人」とされ、いかなる扱いを受けてきたのだろうか。

米国統治下の沖縄では、諸権利から排除され、強制送還の適用を受けた「外国人=非琉球人」は、米軍関係者を除く、他府県籍者を含む沖縄県籍のない人であった。「復帰」により、他府県籍者は沖縄県籍者とともに「県民」となったが、日本国籍なき「非琉球人」は新たに「在日外国人」となり、現在まで差別されている。沖縄で人権・自由に基づく平和をめざし、「外国人」との〈共生〉を追求する際、これらは忘れてはならない事実である。

本企画では、「復帰」50年を機に沖縄から〈共生〉の知恵を創造するため、研究者と当事者を招き、沖縄の「外国人」管理制度の歴史を学び、当事者の経験を聞くことから始めたい。

*申し込み：要

対面・オンライン、ご希望に合わせてそれぞれお申込みください。

*参加費：無料

*お問い合わせ



「外国人」共生復帰50年シンポジウム
hukki50.kyosei@gmail.com

明治学院大学国際平和研究所(PRIME)
prime@prime.meijigakuin.ac.jp
03-5421-5652



明治学院大学国際平和研究所
PRIME
INTERNATIONAL PEACE RESEARCH INSTITUTE
MEIJI GAKUIN UNIVERSITY